

# 全線運転再開！



只見線活性化対策協議会  
只見線応援キャラクター  
「キハちゃん」

被害を受けたJR只見線。「只見線を復旧したい」  
全線で運転再開となりました。  
只見線の魅力や復旧に向けた県の取り組み



## 只見線とは？

只見線は、福島県の会津若松駅と新潟県の小出駅を結ぶ全長約135kmの路線です。会津若松駅を起点とした「会津線」と、小出駅を起点とした「只見線」、また田子倉ダム建設のための資材輸送鉄道がつながり、1971年に現在の只見線となりました。

1973年に只見線と並行する国道252号が開通しましたが、沿線周辺は国内有数の豪雪地帯であり、冬期間は、福島・新潟県境(六十里越)が通行止めとなるため、只見線は地域にとって大切な交通機関として、その役割を担っています。



第一只見川橋梁 (写真・奥会津郷土写真家 星 賢孝)



奥会津の雄大な自然と只見線を写真に収める外国人観光客



## 只見線 人気の理由

只見線は秘境ローカル線としても人気が高く、只見川や河畔の集落、雄大な山々が織りなす車窓からの絶景は、多くの方々に愛されています。

今やその魅力は国外にまで及び、中国のインターネット上では「世界で最もロマンチックな鉄道」と絶賛され、また、日本在住外国人が選んだ「アフターコロナに行きたい日本の観光地」の第2位に選出されるなど、国内外から注目を集めています。



・今月の表紙

JR東日本会津川口駅  
(金山町)

会津川口駅から只見駅間は、新潟・福島豪雨による復旧工事が完了し、7月から試験運転が開始されました。  
「只見川の雄大な流れに沿い船着場のように見える駅」として2002年、東北の駅百選にも選定されています。

2022年 10月号 ねがもくしよ ゆめたより

# 10月1日(土) JR只見線

ふたたび、はじまる。  
再会、只見線



流失した第七只見川橋梁

2011年の「新潟・福島豪雨」により甚大な  
との地域住民の思いが実を結び、11年ぶりに  
鉄道ファンをはじめ、多くの方を魅了する  
などを紹介します。



## 「新潟・福島豪雨」による被災

2011年7月に発生した新潟・福島豪雨により、鉄橋の  
流失や土砂崩れによる線路の崩壊など、甚大な被害を受け  
ました。

特に会津川口駅・只見駅間は被害が大きく、只見川に  
架かる第五、第六、第七の橋梁が流失したほか、第八只見  
川橋梁付近でも盛土の崩壊などが起きました。



## 全線復旧に向けた取り組み

被災後、懸命な復旧作業により大部分で運行が  
再開されましたが、会津川口駅・只見駅間では、被  
害が大きく、2022年9月末までバスによる代行輸  
送が続いていました。

県は、福島・新潟両県と会津17市町村、魚沼市、  
関係団体を構成員とする「JR只見線復興推進会議」  
を設置し、国やJR東日本と「只見線の復旧・復興  
に向けた連携の強化、利活用促進策」などの検討を  
進めてきました。

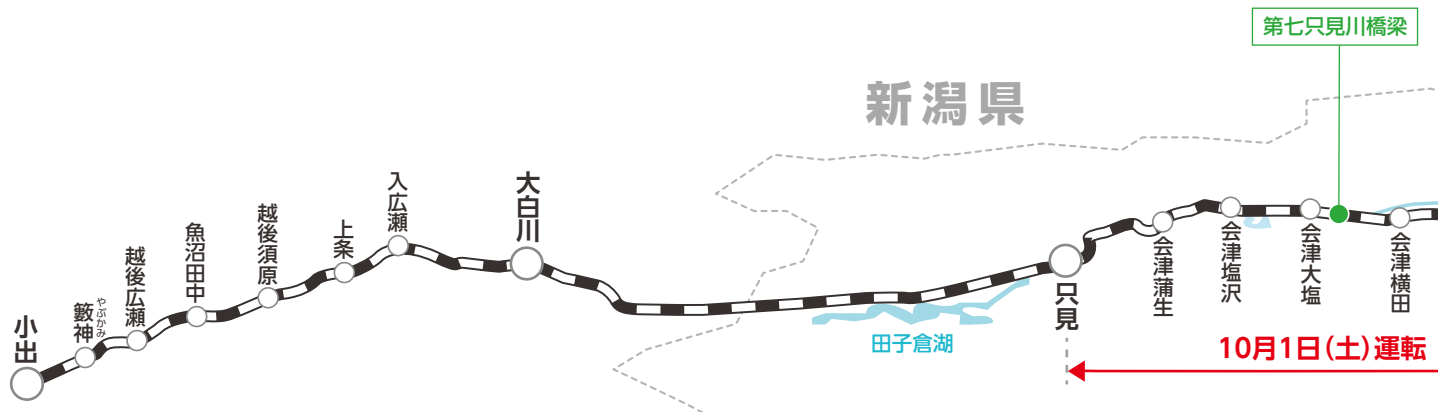
只見線を復旧したいという地元の強い思いが  
実を結び、2017年には、「会津川口駅から只見駅  
間の上下分離方式による鉄道での復旧(※)」をJR  
東日本と合意し、2018年から復旧工事が行われ、  
2022年10月1日の運転再開となりました。



復旧工事が完了した第七只見川橋梁

### ※只見線における上下分離方式による鉄道での復旧とは？

県が路線や駅舎などの鉄道施設を保有・管理し、JR東日本が列車  
を運行する方式による復旧方法を言います。



## 豪雨災害の教訓を生かし、 水に強い鉄道施設を

只見線の全線運転再開にあたり、会津川口駅から只見駅の復旧工事の大半を担った仙建・秋山ユアビス特定建設工事共同企業体の高橋さんにお話を伺いました。



仙建・秋山ユアビス  
特定建設工事共同企業体  
本名土木作業所長  
たかはし いくお  
高橋 郁夫さん

### ■ 被害の全体像を把握するのに苦労した復旧工事

被害状況確認のために現地に入った際に、大きな橋梁が複数流失していた現場を見たときは、衝撃が大きかったです。

復旧工事は、2018年から2022年までの約4年間にわたり、第五、第六只見川橋梁の復旧新設、第八只見川橋梁の盛土補強など、会津川口駅から只見駅の大半を担いました。被害状況の再確認を行うところからはじめ、すべて徒歩での目視確認だったので、被害の全体像を把握するまでに苦労しました。

当初は作業所を3箇所設け、ピーク時は200名規模で工事を行いました。川沿いに線路が続いているという只見線の特徴もあり、橋梁工事のほか、土木設備の修繕工事として、のり面修繕や排水溝の修繕など、再び水かさが増しても大丈夫なよう対策を施しています。

### ■ 橋梁に注目する新たな只見線の魅力



復旧工事中の第六只見川橋梁

工事の中でも特に大規模だった「第六只見川橋梁」は、本名駅から会津越川駅の間にあるのですが、特に注目してほしい工作物の1つです。橋梁が本名ダムに近いということと只見川の川幅や水深を考慮し、水圧に負けないよう橋脚を無くし、約135メートルのスパンで掛けた橋で、規模が大きく珍しいと思います。列車を降り、「橋梁・ダム・山」の織りなす景色が四季を通じて美しいので、ぜひ見てほしいです。

## 只見線鉄道施設群が選奨土木遺産として認定！

只見線鉄道施設群が後世に伝えるべき土木建築であるとして、16の鉄道橋とトンネルの17施設が「選奨土木遺産」として2021年9月に認定されました。福島県内では、今回が7例目となり、今後、観光資源や学習資源として活用していきます。

認定理由

福島・新潟両県の地域資源の活用や豪雪地帯を結ぶライフラインとして、その機能美や四季折々の風景を創生する貴重な土木遺産群であるため。



六十里越トンネル (只見町・魚沼市)

# 只見線の将来を見据えた利活用

只見線が全線復旧を迎え、復興のスタートラインに立ちました。県と会津地方の全市町村など地域が一丸となって、只見線の利活用を図っていくため、2018年に「只見線利活用計画」を策定し、さまざまなプロジェクトを展開しています。

計画では、只見線が「日本一の地方創生路線」として生活・観光・教育・産業の面で利活用されるとともに、それらが循環し成長することで、何度でも乗りたい・訪れたいと思える路線・地域となることを目指しています。

以下、県が実施する利活用事業の一部などを紹介します。

☎只見線管理事務所 ☎0242(93)5155

## 定期列車内おもてなし事業

JR東日本のご協力のもと、2023年2月26日(日)までの土日祝日の一部区間において、絶景ポイントでの速度低下運転、列車内での見所の紹介、地域住民による



列車内でのおもてなしの様子  
※撮影のため、特別にマスクを外しています。

る列車内での特産品販売など、只見線ならではの「おもてなし事業」を行っています。詳しくは、只見線ポータルサイトをご覧ください。

## 只見線ARスタンプラリー

全線運転再開を記念し、只見線ビューポイントや景勝地などの沿線地域の魅力を発信するARスタンプラリーを開催しています。

スタンプの設置数は全部で51箇所あり、取得したスタンプ数に応じて、抽選で地域の特産物を贈呈します。お手持ちのスマートフォンでアプリをダウンロードの上、ぜひご参加ください。

開催期間 11月30日(水)まで

実施場所 柳津町・三島町・金山町・  
只見町・新潟県魚沼市



☎会津地方振興局県民環境部 ☎0242(29)5295

## 只見線応援団



県では、「只見線応援団」を設立し、一緒に応援してくれる会員を募集しています。応援団加入にあたっては、趣旨に賛同し、個人2,000円以上、法人・団体10,000円以上の寄附をお願いしています。

会員特典として、沿線店舗などで割引が受けられる会員証の発行やイベント情報を年数回お届けします。

加入方法については、只見線ポータルサイトをご覧ください。只見線管理事務所までお問い合わせください。



## 只見線ポータルサイト



県では、地元自治体やJR東日本と連携し、さまざまな事業を展開しています。詳しくは、只見線ポータルサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。

只見線ポータルサイト

検索



## コードF-10 ～幸せを呼ぶラッキーアイテムを探せ！～



ふくしま応援ポケモン「ラッキー」と一緒に、奥会津地域を含む県内各地を周遊して、謎を解きながら、宝探しを行う謎解き周遊イベントを2023年2月まで開催しています。参加冊子は、特設サイトからダウンロードするか、道の駅や観光案内所などで配布しています。10月中旬からは、新たなエリアと謎解きを設定した新しい「コードF」を開催します。

☎県庁観光交流課 ☎024(521)7398



©2022 Pokémon. ©1995-2022 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.  
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

Supported by